

# はじめに

全国的な社会情勢として、人口減少・少子高齢化のさらなる進展や、近年の頻発化・激甚化する気象災害など、まちづくりを取り巻く環境は大きな変化を迎えています。

一方で、本市においては、平成28年の中核市への移行に伴う基礎自治体としての機能強化に加え、平成31年に形成した「西九州させぼ広域都市圏」の中心都市として、圏域全体の経済をけん引し、住民の暮らしを支える役割が求められています。

都市計画マスタープランでは、第7次佐世保市総合計画における市の将来像の実現に向け、人口減少・少子高齢化社会において都市機能を維持できるよう、「コンパクト・プラス・ネットワーク型都市構造」の実現を図り、将来の都市像としての「西九州をけん引する創造都市」を目指すために、将来の土地利用や都市施設の整備の方針をまとめたものです。

今後は、当プランの基本的な方針を基に、安全・安心な都市づくりを最優先としながら、公民連携等により各地域にある拠点に応じた必要な機能の維持・充実に取り組んでまいります。

最後になりましたが、この都市計画マスタープランの策定にあたり、多くの市民の皆さまや関係者の方々から、貴重なご意見やご提言など、ご協力を賜りましたことに対しまして、厚くお礼を申し上げます。

令和3年3月

佐世保市長 朝長 則男

